

おむすび通心

第16号
2025年
春

皆さん、こんにちは。

私たちは焼津市認知症地域支援推進員です。
菜の花や桜が咲き、至る所で春を感じるようになりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

令和6年1月に認知症基本法が施行されてから、1年以上がたちました。認知症の人やその家族が暮らしやすい街を作っていくための「**新しい認知症観**※」が広がっていくように、引き続き活動していきたいと思います。

※「認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人ひとりが個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができる」という考え方。



ちょっくら話そう会

令和7年3月
回想法を用いたレクリエーション



△ ボランティアの皆さん、使用した道具の写真

焼津市では、認知症の当事者同士が集まって語り合う、「ちょっくら話そう会（本人ミーティング）」が開催されています。令和7年1月から3月までは焼津市立総合病院（認知症疾患医療センター）の主催で行われました。藤枝市郷土博物館のボランティアさん3名のご協力のもと、**回想法**※を使ったレクリエーションを行い、参加者からは「次も参加したい」との声をいただき大好評でした。

※昔懐かしい道具や写真を見たり、思い出を語り合うことで、脳を活性化させる手法。記憶が呼び覚まされ気持ち安定したり、コミュニケーションが広がるきっかけにもなります。

ちょっくら話そう会の開催予定 （令和7年5月～10月まで）

日程：5/19, 6/16, 7/28, 9/22, 10/20
（いずれも月曜日、8月は休み）

※回想法は5月と10月に実施します。

時間：いずれも13:30～15:00

場所：焼津市立総合病院

問合せ先：焼津市地域包括ケア推進課

054-626-1219

🌸 回想法の後は、認知症の本人・家族同士がグループで話し合いました。

🌸 穏やかな雰囲気の中、互いに自分の話や、やりたいことを話し、盛り上がりました。

今後とも来てよかったと思っていただけるように企画していきます。是非、ご参加ください。

チームオレンジコーディネート ネーターの紹介

焼津市には、認知症の人や家族を支えるチームオレンジが15チームあります。その立ち上げや活動をサポートするのがチームオレンジコーディネーターです。
ここで新しいチームオレンジコーディネーターの坂本彩加さんをご紹介します。



「令和6年度からチームオレンジコーディネーターとなりました。認知症の方やご家族の方の声を大事にしながら、地域の方に認知症に対する理解が広がり、『認知症になっても安心して暮らせる街♡焼津市』を少しでも実感して頂けるような地域のチーム作りをしていきたいと思っています。今後ともよろしく願っています。」

ディー Dカフェを 開催しました



スターバックスコーヒー八幡店に続き、スターバックスコーヒー祇宜島店で「Dカフェ※」が開催されました。
祇宜島店の皆さん、いろいろご配慮頂きありがとうございます。
※認知症の人やご家族、支援者、地域住民が気軽に集い、交流、情報交換する場所です。

【参加いただいた本人の声】

- ・医師からの助言で運動することや脳を使うこと、近所や周りの人とのコミュニケーションをとることが大事だと聞き、人の接点を大事にしたい。
- ・忘れっぽくはなっていて、今日の事も家に帰ればわからなくなってしまうだろうが、自分は自分なりに努力をしている。
- ・認知症になって、今まで経験したことがないような事も経験できている。今後何ができるかわからないが、普通に過ごしていければ良いと思っている。

・このような会があり、知らない人だから話せる事もある。家族だから言えないこともある。家族が聞いたら気を悪くする事も、この中では話せる。

【認知症地域支援推進員 五十右さんの声】

スターバックスさんでの開催は、参加された方にとって初めての経験で、とても刺激になったと思います。私自身も、スターバックスさんと一緒にコミュニティを作ることができ、推進員の活動の中で新しい一歩を踏み出せた日となりました。
今後は継続していくこと、地域に広く周知していくるように活動が続けたいと思っています。

【発行】

焼津市地域包括ケア推進課
各地域包括支援センター（北部・中部・南部・大井川）

第16号編集／中部

おむすび通心

第17号
2025年 夏

皆さんこんにちは！

私たちは焼津市の**認知症地域支援推進員**です。本格的な夏を迎え、蝉の声が盛んに聞こえる季節となりました。夏バテ対策をして、今年も元気に夏を乗り切りましょう。

このおむすび通心は、私たち推進員の活動や、焼津市内で行われた取り組みを、より多くの市民の皆さんに知っていただきたく、季節ごと**年4回発行**しています。今回のおむすび通心では、イオン焼津店で開催した「認知症サポーター養成講座」や、スターバックスコヒーで開催された「Dカフェ」、6月に行われた

「焼津市立総合病院 市民シンポジウム」の様子をご紹介します。

ぜひ最後までご覧ください！



イオン焼津店で 認知症サポーター養成講座を開催

5月9、19日イオン焼津店の従業員さんを対象に認知症サポーター養成講座を開催し、新たに29名の認知症サポーターが誕生しました！

「社会と繋がることで、自信を持つことができる」「周囲の理解で、認知症と診断されてからも仕事を続けることができる」など、講座を通して認知症に対する認識が変わったという感想をいただきました。

認知症になっても、自分らしく、希望を持って暮らし続けることができる地域をつくっていくという**新しい認知症観**は、認知症のご本人達からの、人生に対する前向きなメッセージです。

私たち一人ひとりが、新しい認知症観を持つようになれば、認知症の人やその家族は、認知症であることを周囲に伝えやすくなります。



認知症サポーター養成講座とは、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、自分のできる範囲で手助けする「認知症サポーター」を養成するための講座です。

地域住民、金融機関やスーパーマーケットの従業員、小・中・高等学校の生徒など、様々な方に受講いただけます。少人数でも開催できます。ご希望の方は、講座申し込み先までお問い合わせください。



【講座申し込み先】

焼津市役所本庁舎3階 地域包括ケア推進課
電話：054-626-1219



チームももいろ スタバでDカフェ

(ティールカフェ)

4月23日、スターバックスコーヒー祇宜島店で、チームももいろ主催のD(認知症)カフェが開催されました。この日は、石津西公園みなくるで、グローアップ石津園の園児たちと清掃活動をした後、認知症カフェを開催する予定でしたが、雨天のため清掃活動は中止となりました。参加した皆さんは、園児たちとの触れ合いを心待ちにされていたようで、とても残念がっていました。一つの活動が世代を越えて広がっていくことに力を感じます。次回は秋頃を予定しているとのことでした。



普段、利用している人が少なかったため、オーダー方法やおすすめメニューの説明を受けてから注文しました。ソイラテを注文された方が多く「さっぱりしていて美味しかった」や「次はソイラテにしようかな」など、参加者からの声も聞けました。仲間を過ごす時間は賑やかで充実した時間にみえました。

※Dカフェは、認知症の人やその家族、支援者、地域住民が気軽に集い、交流、情報交換する場所です。Dは認知症のDementiaを意味します。

焼津市立総合病院 市民シンポジウムを開催

6月12日、焼津文化会館小ホールにて、令和7年度第一回焼津市立総合病院シンポジウムが開催されました。「誰もが認知症になりうる時代だからこそ新しい認知症観を」をテーマに副病院長 酒井直樹医師、(株)IOBLG 代表取締役社長平田知弘氏、デイスサービスごんべえ B.L.Gやいづ管理者の山田大二郎氏が講演されました。

酒井医師からは「認知症は、早期発見、早期診断、適切な対応で進行を遅らせることが可能であり、MCI(軽度認知障害)の状態で診断されれば回復率は年16〜41%、認知症への移行率は年5〜15%と言われている。認知症予防は、中年期からの生活習慣病の予防が重要」であることをお話いただきました。

平田氏からは「認知症の有無にかかわらず、社会とつながり、社会に貢献し必要とされる役割があり、仲間がいることが居場所になること、新しい認知症観が重要」とお話いただきました。

山田氏からは「メンバーさんが活動を通して社会に貢献することで、やりがいを感じ生きる希望になっている」とお話があり、登壇されたお二人のメンバーさんは「草取りや食堂は、やりがいがあり、喜んでもらえると嬉しいし、頑張れる！前向きになれます！」と、キラキラした笑顔がとても印象的でした。



【発行】

焼津市地域包括ケア推進課
各地域包括支援センター(北部・中部・南部・大井川)

第17号編集/南部

おむすび通心

第18号
2025年 秋

皆さん、こんにちは！

私たちは焼津市の**認知症地域支援推進員**です。涼しい秋風に、高く澄んだ空。大きく深呼吸したくなるような、気持ちの良い季節になりました。

さて、9月は『**認知症月間**』、9月21日は『**認知症の日**』でした。認知症に対する関心と理解を深め、認知症になっても希望を持って暮らせる社会を目指して、今年も全国各地でイベントや啓発活動が行われました。

わが街焼津でも、認知症月間に合わせ、様々な啓発のための活動が行われました。

今回のおむすび通心では、認知症パネル展
示やオレンジDフェス、
就労的活動支援コーディネー
ター野口さんへのインタビュー
をご紹介しますので、ぜひ、
最後までご覧ください！



認知症月間に合わせ 認知症パネル展2025を開催!!

みんなの声は暮らしやすい地域づくりの原動力!!



イオン 焼津店

認知症月間に合わせて焼津市立総合病院、やきつべの径診療所、イオン焼津店、南部地域包括支援センターにて「認知症パネル展」を開催しました。『みんなの声は暮らしやすい地域づくりの原動力!』をテーマにして、認知症の人やその家族、家族会、介護事業所、地域の人など多くの方が想いや伝えたい事、この街にあったら良いと思う事、周りの人や街がこうなったら良いと思う事をメッセージカードに書いてくれました。

認知症の人からのメッセージ

・認知症になっても社会で貢献できる場所があれば良い。
・話が伝われば嬉しい。友達が欲しい。



焼津市立総合病院



やきつべの径診療所

・認知症は本人にとっても介護する人にとっても大変です。あたたかく見守ってください。
・不安な気持ちに寄り添える余裕を持つために自分も大切にする。

家族からのメッセージ

・認知症の方に声をかけられる、あたたかい街になつたら良い。
・お互い安心して心の通じ合える街づくりをしたい。認知症になっても大丈夫。

地域の人からのメッセージ

認知症の診断後も、地域や社会とつながりを持ちながら、これまでどおりの生活をしている認知症の人が多くいます。また、認知症の人やその家族とともに過ごすことで、認知症に対する見方が変わり、地域とともに暮らす仲間として認知症の人と接することができ『**新しい認知症観**』を持つ人が増えてきています。



南部地域包括支援センター

新しい認知症観とは
認知症になっても、一人ひとりが個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望をもって自分らしく暮らし続けることができるという考え方です。

オレンジデイ 長久寺×おくんがくる

9月29日(日)、今年も認知症月間に合わせて『オレンジDフェス』が開催されました。

日頃地域との繋がりがある長久寺や「おくんがくる」と一緒に焼津市キャラバン・メイトが企画しました。



(左から) 長久寺の武藤住職、お〜んがくるの吉永さん、チームオレンジコーディネーターの坂本さんと望月さん

会場の長久寺(田尻北)では、各種出店、音楽やダンスのステージ、「認知症よくわかるた」大会などが行われました。子どもから高齢の方まで大勢の方が認知症支援のシンボルカラーのオレンジ色の物を

身に着けて参加してくれました。今年のテーマは『人と人の繋がり』。長久寺の武藤住職から「このイベントを通じて、いろいろな世代の人が、9月は認知症月間という事を知っていただけたら嬉しいです。」とお話いただきました。

働きたいシニア世代と 地域に貢献したい焼津市の企業をつなぎます!!



モノダス凜の吉田さん宅のお庭にて草取り活動

Q 市民の皆さんへメッセージ

A 焼津市は日本一元気な高齢者がいる街と言われるようにしたいです。また就労的活動には軽度の認知症の方も参加されています。すべての高齢者が輝ける活動を考えていきたいです。

今年の夏から月2回、10名程の方が集まって1時間程の草取りを行い、謝礼としてその後お菓子や飲み物などをいただいて交流会をしています。活動している方からは「草取りが好き。交流できて嬉しい。」とお話してくださいました。健康食品の販売をしているモノダス凜の経営者の吉田さんからは「草取りが大変だったので大助かり。」と喜ばれています。交流会では、健康話や柿の話、畑を作る話など会話がとても弾んでいました。

就労的活動支援コーディネーターの野口さんにインタビュー



(左から) モノダス凜の吉田さん、就労的活動支援コーディネーターの野口さん

Q 就労的活動支援コーディネーターとは?

A 高齢者の得意な事、やってみたい事と、企業が地域の高齢者にやってほしい事を引き出し、双方のニーズが合致した方同士をマッチングさせる役割です。

Q 活動して良かった事、課題はありますか?

A 良かった事は活動している方から「野口さんに会えてよかった。楽しみが増えたよ。」と感謝のお言葉をいただいた事です。課題はまだまだ周知が足りないと感じるので引き続き頑張っていきます。

【発行】 焼津市地域包括ケア推進課
各地域包括支援センター(北部・中部・南部・大井川)

第18号編集/大井川

おむすび通心

第19号
2025年 冬

皆さん、こんにちは！
私たちは焼津市の**認知症地域支援推進員**です。
短い秋を挟み、あっという間に季節は冬。毎日寒い寒いと外に出かけるのをためらってしまう今日この頃ですが、いかがお過ごしでしょうか。皆さまが元気で笑って暮らせるよう推進員活動を頑張っていきたいと思えます。
本年もどうぞよろしく願います！

さて、11月には、**小規模保育連合会と一緒に市内公園の清掃活動**が行われたり、**清流館高校主催のDカフェ、静岡福祉大学主催の認知症の方への声掛け訓練**が開催され、12月は**認知症市民啓発講演会**が開催されるなど、市内でさまざまな取組が展開されました。また、焼津市立総合病院を会場にして、好評いただいていた**認知症本人ミーティング**が、11月から焼津市医師会館に会場を移しています。
今回のおむすび通心では、そんな活動を皆さまに紹介していきます。
ぜひ、最後までご覧ください！

「認知症×演劇」

～演劇から認知症について知ろう！学ぼう！～

12月6日(土)、ウェルシップやいづで認知症市民啓発講演会が開催されました。

今年度のテーマは「認知症×演劇」。講師は介護従事者で俳優でもある『With D』の皆さん。

笑いあり、涙ありの演劇の中にも、認知症の症状や対応方法など、ご自身の体験に基づいたお話を織り交ぜながらの解説で、楽しみながら認知症の理解を深められる講演会となりました。

後半は認知症ご本人による講話があり、昨年も登壇していただいた内山さんから、①認知症は誰でもなる。②認知症になっても普通に生活できる。③心配になっただけ、すぐに受診してほしい。④認知症の診断を受けた方が周りにいたら、

認知症×演劇

～演劇から認知症について知ろう！学ぼう！～



講師紹介
認知症支援員 藤村 孝子
俳優 山崎 浩二
俳優 山崎 浩二

開催日 令和7年 12月6日(土) 13:30～15:30(受付13:00～)

会場 焼津市総合福祉会館 ウェルシップやいづ 多目的ホール (焼津市東条町1-2-2)

定員 100名(申込先着順)



認知症VR体験会
15:30～16:30
認知症VR体験会
15:30～16:30
認知症VR体験会
15:30～16:30

認知症VR体験会
15:30～16:30
認知症VR体験会
15:30～16:30
認知症VR体験会
15:30～16:30



▲「認知症VR体験会」



▲「With D」による演劇



▲認知症ご本人からの講話

話を聞いてあげてほしいなどのお話をいただきました。
講演会終了後には、認知症VR体験会も開催されました。
「認知症の人が見ている世界」を体験した方からは、「こんなにはっきりと幻視が見えると思わなかった」などの声も聞かれ、中には何度も体験される方もいらっしゃいました。
ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。



11月11日(火)、市内公園7か所で、公園近くの介護施設の利用者と保育園児が力を合わせて清掃活動を行いました。

焼津市小規模保育園連合会では、毎年「普段お散歩などで使っている公園を自分たちの手で綺麗にしよう!」という取組を行っています。昨年度より、市内介護施設の利用者様や市内在住の方も、最寄りの公園で、交流を楽しみながら清掃活動を行うようになりました。小さなお子さんを前にすると、普段口数の少ない方も自分から園児に話しかけたり、「足が痛い」と訴える方も、膝を曲げて園児の目線で話をしたりと、皆さん眠っていたパワーが呼び起こされているようで、生き活きた顔が印象的でした。



11月10日(月)、清流館高校3年生がスターバックス八幡店でDカフェを開催し、当事者とそのご家族6組の方々が参加されました。

生徒達がレジのフロアや席までの案内を上手に行ってくれ、皆さんゆったりとコーヒーの時間を楽しむことが出来ました。お互いのことを話したり、ご家族との時間を楽しんでもらったりと、会場は終始和やかな雰囲気でした。

当事者さんと交流ができるこのD力
フエは、生徒の皆さんにとっても貴重な
時間になったようです。



認知症の方への
声掛け訓練

11月9日(日)、静岡福祉大学の主催で認知症の方への声掛け訓練が行われました。駅前通り商店街、昭和通り商店街、神武通り商店街を舞台に、キャラバン・メイトがふんずけるお年寄り役を演ずる、声かけ、実践しながらの訓練となりました。当日はあいにくの天気となりましたが、認知症サポーター養成講座でも学んだ「優しい声の掛け方」を、実際に試す良い機会となりました。



【発行】 焼津市地域包括ケア推進課
各地域包括支援センター（

第19号編集／南部・南部・大井川